

短歌 技法②

年 組 名前 ()

10点×10

短歌に使われる技法と、意味の組み合わせが正しくなるよう
カッコにアッコを書き入れなさい。

意味

ア 倒置法

(ウ)

似た構成の言葉を並べ、リズムをつくる。

イ 擬人法

(ケ)

たとえるときに「ように」
「ようだ」などを用いない。

ウ 対句

(コ)

短歌の基本形式。
三十一音をこの順に並べる。

エ 字余り

(オ)

同じ言葉を繰り返すことで、
リズム感を生み出す。 強調したり、

オ 反復法

(エ)

基本の音数より多くする。

カ 体言止め

(キ)

たとえるときに「ように」
「ようだ」などを用いる。

キ 直喩

(イ)

人でないものを人にたとえて表現する技法。

ク 字足らず

(ク)

基本の音数より少なくする。

ケ 隠喩

(ア)

語順を逆にして意味を強める。

コ 五・七・五

(カ)

文の最期を体言で終わらせることで、
感動を強める。